

オープンキャンパス2014 学科別カリキュラム 〈7月26日〉

【体験 模擬授業 ～概要】

名寄市立大学 保健福祉学部

「栄養教諭が行う『食に関する指導』」

栄養学科 黒河 あおい 准教授

栄養教諭は、児童生徒が健康に生きていくための自己管理能力を身につけてもらうために、学校給食を教材として「食に関する指導」を実施します。各教科と連携しながら、「考えて食べる」という力を身につけるためには「体験学習」や「日常の積み重ね」など継続的な指導が必要です。今回の模擬授業ではその一部をご紹介します。

「タッチケア」

看護学科 加藤 千恵子 准教授

タッチケアとは、ふれあいの意味です。マッサージを通して、自分と相手を癒すことができたらどんなに良いでしょう。対象は誕生から召されるときまで。赤ちゃんだけではなく、赤ちゃんの能力と発達の経緯からオキシトシンという愛情ホルモンに焦点をあてて、大切な自分自身について考えてみましょう。信頼と快、不快の感情について実感してみましょう。

「当事者体験から考える社会福祉支援」

社会福祉学科 長谷川 武史 講師

社会福祉の支援では、サービス提供側（支援者）とサービス利用側（利用者）間のコミュニケーションにより、必要なサービス支援を検討・実施していくことになります。今回は視覚遮断体験を通じて、社会福祉専門職に求められる支援の視点について一緒に考えていきたいと思います。

名寄市立大学 短期大学部

「子どもの心身発達を促す親子遊び指導法」

児童学科 糸田 尚史 教授

幼児期の心身の発達を養育者と協働して促進する「遊び方教室」を体験してみましょう。特別な道具は使わずに、親子集団が、身体を使った遊び、手遊び歌、絵本、社会的スキル遊びなどで、楽しめる方法を考えます。制服やスカートではなく、動きやすいカジュアルな服装でいらしてください。